

第4回 隠岐の島町庁舎整備計画説明会 原田会場 質疑録

日 時： 平成28年5月25日

場 所： 原田中央集会所

住民参加者数： 20名

(住民 A) 隠岐の島町庁舎建設検討委員会でいろいろなことを決めて、それをもって議
会に諮るのか？

→ (役場) 説明会で意見を伺って、それをもって議会において方向性を出してい
くが、新築となった場合に建設検討委員会を組織して、どのような庁舎
にするかなど検討する

(住民 B) 建設費の20億円には、用地費は入っていないのか？

→ (役場) 場所が決まらないと、用地費、造成費についてはわからないので、20
億円の中には入っていない。合併特例債を使うと新築が経済的には有利
であり、長期的な経済比較でも7.7億円新築が有利だと説明したが、その
範囲に十分収まると考えている。

(住民 C) 今の庁舎は平成7年頃にも水に浸かっている。津波の心配もあるので、どこ
か高い地盤の場所に移転した方が良いと思う。

(住民 D) 現在の場所で嵩上げ工事をして建替するなどの方法は検討していないのか？
新たに用地を確保するより安価になるのではないのか？

→ (役場) 現位置での建替は候補の一つにはなると思われるが、現位置でも、駐
車場用地の購入費、浸水対策工事費などかかると思う。

(住民 A) 場所によっては進入路も長くなるのではないのか？その進入路も合併特例債の
対象となるのか？一般財源を余り使わない方法があるのか？

→ (役場) 対象となると思うが、町道改良でもできるのではないかと思う。また
移転新築のとき、そのことは場所を選ぶ判断材料となるので、実現性と
経済性を考慮しながら検討していく。

(住民 A) 合併特例債を充てる上限はあるか？

→ (役場) 隠岐の島町の発行限度額は85億円で今まで約半分を使っている。H31
年度迄残りの額を使えるので、そこから庁舎建設に20億円程度を当てる
予定だ。

(住民 B) 場所については、庁舎の中のバリアフリーだけでなく、役場に行ったら病院
にも行けるなど、全体のバリアフリーを考えるとともに、安全性を第一に考え欲
しい。また、説明にもあったように分庁舎化している部署を一つにした方が良い
と思う。

(住民 F) 今聞いた説明の限りでは新庁舎を建設した方が良いと考えるが、場所を考え

ると、中条に近づいてくるのではないかと考えている。そうなれば中条にとっては良いのだが、旧街部にとっては、遠のいていくこととなり、これをどう一体化して解決するかが難しいが、どちらも活性化できる方法で建設して欲しい。

→（役場）大規模事業課は庁舎建設だけでなく、旧街部をどうするかということも担当しているので、そのことも考慮して場所については皆さんと一緒に検討していきたい。

（住民 G）支所はどうか？耐震性はどうか？耐震性がないなら合併特例債を使って整備してはどうか？

→（役場）支所の耐震補強については何らかの方法を考えていかななくてはならないが、現段階では本庁舎からと考えている。

また、支所の耐震補強に合併特例債は難しいかもしれない。

（住民 G）防災上の考え方からすると本庁舎だけでなくサブの施設も必要ではないか。そういう理由にすれば少なくとも 1 箇所くらいの整備費は合併特例債で可能ではないか？

→（役場）サブ拠点の整備は他に防災関係の補助事業とか起債があるので、そちらの方で検討したい。

（住民 H）防災拠点としては、整備は必要だが、分散することで安全性が担保できることもある。他の地区の人は新庁舎にした方が良いと思っているのか？

→（役場）説明会で皆さんの意見を聞いています。各会場の意見は本日、ホームページに掲載しました。

（住民 I）説明を聞くと、誰が考えても、耐震補強より新庁舎建設が有利である。

（住民 J）新築移転をした場合は、ふれあいセンターはまだ新しいが現庁舎は解体するか？後利用については役場内で検討していないか？

→（役場）ふれあいセンターの部分は十分活用できるが、庁舎部分の後利用については、まだ検討していない。

（町長）みなさんからいただいた意見を十分に精査しながら、議会とも相談をして方針を決めたい。合併特例債が使えるのは H31 年という期限があるので、早い時点で耐震補強か新築かの方向を出し、新築移転が決まった場合には、場所についていろいろな意見があるので、経済性等を考えながら、みなさんに委員になってもらって検討していただきたい。